

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	札幌市はるにれ学園			
○保護者評価実施期間	R6年12月6日		～	令和6年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和6年12月6日		～	令和6年12月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	12名
○訪問先施設評価実施期間	R6年12月6日		～	令和6年12月24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1名	(回答数)	1名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な子どもに係る現場（保育所等）での経験を積んだ職員が訪問する	様々な職場での経験を生かし、子ども一人一人に適した環境や関わり、集団場面での配慮などを助言している	今後も職員研修や勉強会などを実施し、職員のさらなるスキルアップを目指す
2	複数の職員で担当、訪問することができる	専任の職員はいないが、今年度は児童発達支援管理責任者や児童発達支援責任者を経験した職員が担当し、複数の職員で訪問し、客観的にアセスメントを行った	どの職員でも訪問・担当できるよう、情報共有を行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実施実績が少ない	今年度は1件の実施となった。保育所等訪問支援事業の周知が不足していることが要因と考える	卒退園児や関係機関に保育所等訪問支援について周知していく
2	訪問未経験の職員が多い	実施実績が少ないため、事業に従事したことがある職員に限られている	実際の訪問を経験していない職員でも理解できるよう状況共有を行うなど工夫してきた。今後は保育所等訪問支援事業の周知に力を入れ、実施の際は職員全体で情報を共有し、多くの職員が経験できるようにしていく